

## H27年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

### 1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒山麓公園				
所在地	奈良県生駒市俵口町2088				
指定管理者名	モンベル・あおはに共同体	指定期間	開始日	平成 26 年 7 月 1 日	
利用料金制適用区分			終了日	平成 36 年 6 月 30 日	
選定方法	非公募	評価実施年	指定期間	10 年のうち 2 年目	
設置目的	金剛生駒紀泉国定公園の緑豊かな自然環境の中で、市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供される市内有数の公園で、ふれあいセンター、野外活動センター、フィールドアスレチック、テニスコートなど公園内に設置し、市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的としている。				
主な実施事業等	生駒山麓公園運営（指定管理＝公園部分、テニスコート。自主事業＝フィールドアスレチック、野外活動センター）ふれあいセンター運営（指定管理＝温浴施設、会議室。自主事業＝レストラン、売店、いこいの広場）市民対象キャンプ事業および冒険プログラム（カヤック体験、山歩き講習会等）				

### 2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
フィールドアスレチック	人		72008	1.12	
野外活動センター	人		53095	0.91	B B Q利用の受入定員減少のため
ふれあいセンター研修室	人		18451	0.98	
ふれあいセンター浴場	人		61228	0.83	10/30～11/20レジオオネラ菌発生による浴場休業のため
テニス	人		29918	1.02	

### 3 事業収支

(千円)

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	272,782	306,098	200,147
指定管理料		172,282	172,282	129,786
利用料金収入	C			
自主事業収入		100,500	133,816	70,361
その他				
支出計	B	272,782	300,339	195,823
指定事業費		172,282	172,282	129,786
うち人件費	D	26,100	39,173	29,801
うち再委託料	E	68,850	66,883	47,971
自主事業費		100,500	128,057	66,037
事業収支	A-B	0	5,759	4,324
利用料金比率	C/A			
人件費比率	D/B	0.096	0.130	0.152
再委託費比率	E/B	0.252	0.223	0.245
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

### 4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	(利用者アンケート)・意見箱の設置・その他( )
実施結果		意見内容等	対応実績等
		①レストランメニューが高額になり利用しづらくなった。 ②テニスコートの周囲にゴミが散乱している。 ③テニスコートへの進入路がせまいため、車の待避所を設けて欲しい。	①従来と同価格帯のメニューを追加。 ②清掃委託業者により即時対応。 ③車の衝突を避けるためにカーブミラーを設置。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>施設の本来機能を利用者に提供するため、故障や破損が生じた箇所は即時対応するよう心がけた。自主事業について、従来イベントの継続するとともに、指定管理者のノウハウを生かした新規事業の立案も行い、施設をより多角的に利用するよう努めた。また、レストランを障がい者就労の中心施設として積極的に告知し、就労人数の増加へとつなげることができた。</p> <p>市の評価</p> <p>施設の維持管理については、施設内対応及び外部発注を含めて適切に対応することができている。今後も新規の事業企画も含め、障がい者就労支援に繋がる施設整備等に取り組んでいただきたい。</p>
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>ふれあいセンター、野外活動センター共に市民利用予約について、期日を厳守し平等な利用の確保に努めた。テニスコートの土日の利用に関しては、毎月抽選会にて利用者を決定し利用の公平性を維持した。生駒市の委託事業であるユニバーサルキャンプおよびこどもキャンプにおいても、希望者が多数に上ることからはがき申し込み後公開抽選で参加者を決定した。</p> <p>市の評価</p> <p>基本協定書、関係法令を遵守し、適切に運営管理を行うことができている。</p>
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>アンケートならびにききみみポストにより公園利用者の意見を収集し、即時是正に努めた。委託業者が受付を担当する浴場やアスレチックに関しては、利用者からの意見をつぶさに指定管理者へ報告するよう指導した。</p> <p>市の評価</p> <p>公園利用者のご意見を収集し、問合せ状況などを各月実績報告で報告を受けている。また、ご意見の内容により随時、指定管理者と市が協議し、対応の遅れがないように取り組んだ。また、公園利用者増加に向け、一層の努力をすること。</p>
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>新たな営繕担当者を迎え、昨年度まで外部発注していた軽微な故障・破損箇所を施設内で対応することとした。外部発注の際には複数業者にて比較見積りをとり、安価な業者を選定するよう努めた。節電、節水、ゴミの減量にも力を注ぎ、経費縮減に加え環境にも配慮した運営を心がけた。</p> <p>市の評価</p> <p>修繕にかかる経費については上述のとおり、取り組むことができた。また、環境への配慮に関して、ゴミの減量化については数値としても表れており、継続した取り組みに期待する。</p>
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>営業担当者を設け、学校・企業をはじめとする団体に対し積極的に施設を売り込んだ。その結果、多数の団体を施設に誘致することができた。アスレチックでは、ネット情報サイトやクーポン制度を活用し、利用の増加を図った。</p> <p>市の評価</p> <p>アスレチック利用に関しては、上述の取組みが利用の増加へと繋がった。また、施設の修繕工事等が行われたにも関わらず、一定の各施設利用を保つことができたと考えているが、更なる利用増を目指す取り組みに期待する。</p>
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>各職員を最適配置した上で、専門性の高い業務に関しては最適業者に業務委託し、施設の適切な運営を維持した。広報活動については指定管理者の持つネットワークを生かして、より広範囲への告知を可能にした。</p> <p>市の評価</p> <p>職員の配置、業者委託に関して適正に選定し、公園利用者へのサービス向上に努めることができた。</p>
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>アスレチックについて、専門業者の点検に加え職員による定期点検も実施し、破損・危険箇所を可能な限り早く修繕するよう努めた。加えて、利用者に対し自社製ヘルメットの着用を義務付け、安全性をより高いものとした。野外活動センターにおいては、質の高いサービス提供のために受け入れ定員をあえて少なくし、利用者の満足度向上を図った。</p> <p>市の評価</p> <p>公園利用者のニーズ（施設利用時の安全性確保、サービスの質的向上）を的確に捉え、応えることができた。自主事業に関しては公園の効用を全うするよう実施すること。また、いこいの広場の利用を検討されるなど、公園利用者増加に向け、一層の努力をすること。</p>
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>個人情報を含む書類については金庫にて適切に管理し、破棄する際にはシュレッダーを利用した。事故発生時には現場に職員が急行し、状況に応じて応急手当や救急車の要請を行なった。また、事故内容は報告書にまとめて職員で情報共有を行い、再発の防止に役立てた。</p> <p>市の評価</p> <p>個人情報また各施設についても適切に管理することができている。また、上述の事故等発生時についても市と連携を取りながら遅滞なく対応することができた。</p>

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>施設の老朽化が進み修繕を要する箇所が増加しており、今後修繕費用が膨れ上がっていくと思われる。安定的な事業継続を考えた際に、施設各所の利用料金の値上げを行い、修繕費用をまかなうべきではないかと考える。</p> <p>市の評価</p> <p>複数年の改修工事を通じて、快適な施設環境を維持する。また、広報活動などを通じて利用状況の活性化を図りながら収入を確保し、上述の検討事項についても協議しながら安定的な事業継続に努める。</p>
社会福祉施設に準じた評価	
施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>レストラン事業を通じた福祉事業に関して、利用者の就労意識や作業能力の向上に対する支援を構築し、一般企業の障害者雇用に送り出す等の実績もできた。また、ピザ等一部計画的に外部に出荷していたことについては、県や市からの要請を重く受け止め、外部出荷を見直し、今後はより一層都市公園法を遵守し適切なレストラン運営に努める。</p> <p>市の評価</p> <p>レストラン事業については、季節に応じたイベントやフェアを開催し、利用者の就労意識の向上に努力され、利用者の増加につながっていることは評価できる。また、今後においても都市公園法を遵守し適切なレストラン運営に努められたい。</p>
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>生駒市内に限らず、広く地域から当福祉事業の利用をいただいている。当事業所内での継続した就労希望や一般企業への就職希望に対し、個別に対応することで、各々の希望する生活の実現に可能な限り近づけている。</p> <p>市の評価</p> <p>県内特別支援学校への案内や体験の受け入れ等利用者増加に向けての取り組みをすすめられている。また、一般就労にもつながったケースも評価できる。今後も一般就労に向け、軽度から比較的重度の利用者まで幅広い就労支援を提供できるよう環境整備に努められたい。</p>
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>充実した福祉支援の提供のために、法定職員配置数以上の職員を配置し、きめ細やかな対応を心掛けている。また、職員の支援技術向上のために、外部の専門研修等への参加を積極的に行っている。</p> <p>市の評価</p> <p>職員の配置数や研修等を通じ、さらに支援の充実に努めていただきたい。また、障がいを持つ方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市内福祉事業所との連携を強化し地域での支援体制の強化にも積極的に努められたい。</p>
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	<p>指定管理者による自己評価</p> <p>福祉サービス利用者の個人情報に関しても、個人情報保護法に則った管理を徹底し、不備なく実施している。また、傷病等発生時について協力医療機関との連携や、対応マニュアルを整備している。</p> <p>市の評価</p> <p>個人情報の管理にあたっては、生駒市個人情報保護条例等の規定に従い、適切な管理を行うこと。特に障がいを持つ方が利用者となるべき点で利用者の思いに寄り添い細心の注意を図られたい。また、事故対応や危機管理体制についても万全を期すこと。</p>

## 6 指定管理者の財務の状況

株式会社モンバル

非公表

社会福祉法人青葉仁会

(千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
資産		3,606,493	3,867,263
流動資産		619,115	642,533
固定資産		2,987,378	3,224,730
負債		149,738	164,156
流動負債		149,738	164,156
固定負債			
純資産		3,456,756	3,703,108
資本金			
売上高		1,293,084	1,368,067
収支増減差額		238,380	264,782

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

株式会社モンベル

非公表

社会福祉法人 青葉仁会

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
自己資本比率 純資産/資産×100		95.8%	95.7%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100		4.3%	4.4%
固定比率 固定資産/純資産×100		86.4%	87.1%
流動比率 流動資産/流動負債×100		413.5%	391.4%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100		86.4%	87.0%
総資産回転率 売上高/資産×100		35.9%	35.4%
総資産収支増減差額率 経常利益/資産×100		6.6%	6.8%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
<p>10月に浴場にてレジオネラ菌が発生し、1ヶ月ほど浴場の営業を停止する事態となった。今一度業務内容の見直しを図り、条例や業務仕様書に則した運営管理を徹底したい。指定管理2年目となるが、指定管理者のノウハウを十分に生かしきれていないように感じる。既存の機能やサービスは維持しつつも、障がい者就労やアウトドアにより一層力を注ぎたい。園内各所の施設設備で老朽化が進むに加え、園内全域にナラ枯れが蔓延しており、利用者に危険を及ぼしかねない状況である。市の協力のもと、来園者が安心して利用できる環境整備を早急に進めたい。</p>
市の評価
<p>上述にあるように基本協定書や関係法令を誠実に履行するとともに、市と連携をとりながら園内の安全管理及びレストラン、浴場の衛生面の管理を徹底して業務を継続していただきたい。また、指定管理業務と自主事業の区分を明確にし、障がい者就労やアウトドアスポーツを通じた公園の活性化を図る中で、公園内の各施設が便益施設として都市公園の効用を全うできるよう努めること。また、公園利用者増加に向けた、魅力ある自主事業を実施し、年間公園利用者目標と障がい者就労目標を設定すること。</p>